

すがも ライブライアズの「ほんだな」



第1回目のテーマは
「ふうふう」

今年度から始まったこのコーナーでは、巣鴨図書館の司書が、自分の好きなテーマで、心に残る本をご紹介します。
第1回目は、自称ベテラン司書？の名からわかる通り、人生経験もかなり長い私の「夫婦」にまつわる「心に残る本」です。

最初に紹介するのは、『ハイジ紀行』¹⁾。子どもの頃からの愛読書の筆頭が「アルプスの少女ハイジ」だった私は、新井紀子さんの思いに大いに共感し、その奥さまの夢を叶えてあげようと思う満さんの気持ちに心打たれました。

そして、次に心に残ったのは、向井万起男さんの『君についていこう』²⁾ シリーズ。日本人女性初の宇宙飛行士向井千秋さんを妻に持つ万起夫さんの、心の底から妻を応援する気持ちが深く心に残りました。当時を知る方は、万起夫さんのユニークな風貌を覚えていらっしゃる方も多いかと思いますが、夫婦は色々な在りようがあるのだと感じさせてくれた素敵なお夫婦です。

素敵なお夫婦と言えば、売れっ子作家同士のおしどり夫婦として著名だった小池真理子さんと夫の藤田宣永さんも浮かびます。二人に訪れた永遠の別れがテーマの『月夜の森の巣』³⁾ は、辛い話ですが、再生に向けての希望も感じさせてくれます。

そして最後の1冊は、『銀婚式物語』⁴⁾。ライトノベル作家として知られる新井素子さんが、ご自身の結婚生活を元にかかれた『結婚物語』⁵⁾ の25年後が描かれています。軽妙なお話はもちろん楽しいのですが、後書きの「金婚式物語でお目にかかりましょう。」という一言に「未永く仲良く」という思いが感じられ、あったかい気持ちにさせられます。

気になる1冊、是非お手にとってみてください！ (M)

「ほんだな」で紹介した本

- 『ハイジ紀行』 新井満・新井紀子／著
白泉社 (293 ア)
- 『君についていこう』向井万紀夫／著
講談社 ※「上」・「下」は、池袋図書館。
※「続」は、上池袋図書館で所蔵しています。
- 『月夜の森の巣』 小池真理子／著
朝日新聞出版 (コイ)
- 銀婚式物語 新井素子／著
中央公論新社 (B ア)
- 結婚物語 新井素子／著 中央公論新社
※駒込図書館で所蔵しています。

4月の行事

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
新刊 お話し	休館					
9	10	11	12	13	14	15
新刊 お話し						
16	17	18	19	20	21	22
新刊 お話し		赤ちゃん お話し				
23	24	25	26	27	28	29
新刊 お話し					休館	
30						
新刊 お話し						

すがも自然絵巻 春
制作会があります。
出来上がりを楽しみに

<日曜>新刊本を出します。
新刊コーナーにご注目！
毎週11時から、幼児から
小学生低学年向けのお話しが
あります。

<火曜>第3火曜日11時から、赤ちゃん
向けお話しがあります。

編集後記

今月から新コーナー「すがもライブライアズの本棚」が始まりました。

私たち司書の心に残っている本、
ご紹介していきます。

楽しみにしていてください！
(M)

すがもらいぶらり

2023年4月5日巣鴨図書館発行



巣鴨図書館の思い出

前中央館長が教えてくださった
巣鴨図書館でのルーティンをご紹介します。

すがもがーでの野菜に挨拶を
して、入口からカウンターを通り
新刊の棚へ。

YAコーナー、展示を見る。
絵巻を眺める。

事務室で用を済ませ、またYA
コーナーを見る。

児童コーナーを覗いて、雑誌
コーナーを横目に、再びがーで
んへ。

時々2階に上がる。
気分は「とこちゃんはどこ」の主
人公、とこちゃん（ただし〇〇
歳）。

うろうろするたび新発見。
この小さな巣鴨図書館が、いつま
でも地域の「ホッと知るワン
ダーランド」であってほしいと心
から願っています。

前中央図書館長（図書館課長）



2022年度締めくくりは、前中央館長の「巣鴨図書館でのルーティン」でした。巣鴨のおすすめスポットを網羅してくださっていてとても嬉しかったです。いただいた言葉

「ホッと知るワンダーランド」であり続けるために、これからも元気にさまざまなことにチャレンジしていきたいと思います。

かわいいヤックル始め、たくさんのオリジナル小物、おしゃれな棚等を残してくださった前巣鴨館長への感謝も込めて！

巣鴨図書館 一同

食いしん坊司書の部屋



巣鴨図書館の
草食系男子が
料理を語ります

ジブリに出てくるご飯って美味しそう。

「千と千尋の神隠し」を映画館で観たときの感想がそれでした。こうした感想を持っている人は意外にも多く、ジブリ映画の話をするときにこの話題を出すと色々な人と話が合いました。

そして、再現できそうな料理は試しに作ったりもしました。例えば、「天空の城ラピュタ」のエッグトースト、「カリオストロの城」のミートボールスパゲティなど。実際に作ってみると味はそれなりでしたが、登場人物の気持ちを考えながら料理をするのはとても楽しかったです。

ちなみに、我が家の台所はいつも男が立っていました。思い出の味はいつも父の手料理です。甘めの卵焼きやお好み焼きなどたくさんありましたが、お店で食べるよりも美味しかったのを覚えています。祖父が料理をしたのか分かりませんが、生前の祖母がコンビニ料理ばかりだったのを見ていたので、恐らく、祖父が料理をしていたのだと思います。

せっかくなので、今回ご紹介する本は映画やマンガに出てきた料理の本です。

ぜひ登場人物になったつもりでご堪能下さい。
(N)

紹介した本

『スタジオジブリの食べものがいっぱい』
スタジオジブリ／監修
徳間書店児童書編集部／編 徳間書店
【Eトク】
『サンジの満腹ごはんー海の一流料理人
ONE PIECE PIRATE RECIPESー』
SANJI／著 集英社 【Y596サ】

じぞうさんぽ【突撃！ 隣の図書館】



中野区立江古田図書館



図書館入り口のかわいい看板



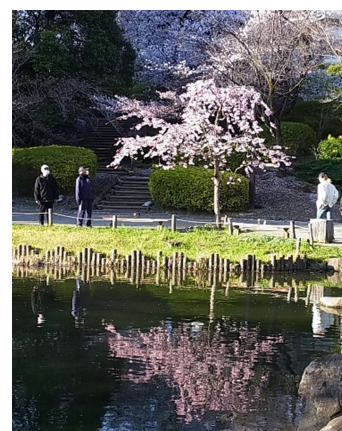
哲学堂の菖蒲池。お花見前に
水を抜いて清掃中



哲学堂古建築物の一つ「絶対城」。
すごい名前ですが図書館です



中野通りから野方配水塔を望む



普段はこんな感じ
(菖蒲池・2022年4月撮影)

旅のお供に
ふさわしい図書館

ともぼん
お供本

『江戸・東京歴史の散歩道
ー江戸の名残と情緒の探訪ー5』
街と暮らし社／編 街と暮らし社
(291.3 エ)
『花散歩東京を歩く』 実業之日本社
(291.3 フ)
『東京・街角のアート探訪
ー散策しながら自由に楽しむー3』
佐藤曠一／編著 日貿出版社 (712 サ)

<エコダじゃないよ、エゴタだよ>

じぞうさんぽは、今月から新企画。豊島区の駅から歩いて行ける隣の区の図書館を、寄り道しながらご案内します。第1回は、**中野区立江古田図書館**です。出発は、西武池袋線東長崎駅。南口を出たら、目の前の道を線路に沿って右へ。栄通り商店街を抜けて5分ほど歩き、千川通りに出たら左折。ここから図書館まで20分ちょっとのお散歩です。途中、右手奥に向かって桜並木の続く交差点を通るのですが、実は東京都が定めている「千川通り」はここからだそうです。豊島区内の「千川通り」は、千川上水の暗渠（千川～南長崎）のローカルな通称らしく、豊島区目線では「千川通りが90度右折している」という妙な状況になっています。今回は、右折せずに直進。目白通りを渡った先の二股を右に入り、コンビニの大きな看板と中野区の案内板（中野区江古田一丁目4）のある信号を右折すると、左側に巨大な塔が現れます。ここは**みずのとう公園**。塔は**野方配水塔**と呼ばれている水道タンクで、昭和4年竣工。同41年まで使われており、中野区のシンボルとして今は区立の公園になっています。坂を下り、江古田川の**不動橋**を渡ると、ようやく**中野区立江古田図書館**に到着です。

江古田図書館は、1986年開館。規模としては駒込図書館くらいの地域館です。1階に児童・YAコーナー、新聞雑誌、文学、地理歴史、家事関係。2階にその他の分野。2階には「健康・医療情報コーナー」があり、健康関係の図書その他、地元の健康情報も紹介。1階カウンター脇の「今日は何の日？」と題した特集棚では、日替わりでその日のテーマに合わせた本が展示されています。中野区の利用者カードの登録要綱は、「中野区に在住・在勤・在学、または隣接区（練馬・豊島・新宿・渋谷・杉並）に在住」。歩くと少し遠いですが、自転車をお使いなら選択肢に入れるのもありかと思います。

江古田図書館を出たら、橋まで戻り、川沿いに新青梅街道に出て左折。10分ほどで**中野区立哲学堂公園**が見えてきます。野球場の角を曲がって東側の正面口から入園し、点在する古建築物と咲き始めた桜を眺めながら園内を散策しました。実は今回、中野区を選んだのは、この**哲学堂公園**と千川通り、新青梅街道、中野通りの桜並木でお花見をしていただきたかったからなのですが、今年は例年より早めに開花したため、この号が出る頃にはソメイヨシノは散っているかもしれません。千川～南長崎の千川通りは八重桜の並木なので、見ごろは4月に入ってからです。よろしければ行ってみて下さい。（A）